

AO・推薦入試対策講座 第6講

今回から、志望理由書のパーツ作り（①A～③B）に入ります。

ただしその前に、こんな人いませんか？

「文章書くのがきらい、何書いていいかわからない！！！」

そこでまず第6講では、

I. 作文の書き方

II. 小論文の書き方

III. 志望理由書は作文？小論文？ からお話ししていきます。

I. 作文の書き方

宿題で出した「私の好きな食べ物」、こんな作文を書いてみました。

私の好きな食べ物はモンブラン。

ほのかな栗の甘みと生クリームのコントラストは絶妙だ。

母が初めて買ってくれたモンブランの味は忘れられない。

モンブランにまみれて眠ってみたい。

上手いも下手も論じようのない文章ですが、ここでひとつ質問です。

この作文にはいろいろな問題点がありますが、作文としてもっとも

大きな失敗は何でしょうか？

正解は……、

「

」

これは、作文でかなり多くの人たちがおかしてしまうミスですので、この機会にしっかり頭に叩き込んでおいてください。

作文と論文との違いは何かといいますと、

「作文では、

」

「作文では、

」

ということです。

さて、さきほどの作文に番号をつけてみます。

①X 私の好きな食べ物はモンブラン。

①Y ほのかな栗の甘みと生クリームのコントラストは絶妙だ。

②母が初めて買ってくれたモンブランの味は忘れられない。

③モンブランにまみれて眠ってみたい。

ここでわかること（ちょっとこじつけ気味）

①書き手の主張とモンブランというものの説明（現状）

②書き手の具体的な経験

③書き手の希望

がそれぞれ書かれています。

ここで、①X と①Y を入れ替えてみましょう。

①Y ほのかな栗の甘みと生クリームのコントラストは絶妙だ。

①X そう、私の好きな食べ物はモンブラン。

②母が初めて買ってくれたモンブランの味は忘れられない。

③モンブランにまみれて眠ってみたい。

たったこれだけのことで、文章に味わいというか、深みが出ているのが感じられるでしょうか？

そうです、題材が与えられている作文（「私の夢」など）については、

（ ） のです。

Ⅱ. 小論文の書き方

では先ほどの作文を、小論文として見たらどうなるでしょう。

①X 私の好きな食べ物はモンブラン。

①Y ほのかな栗の甘みと生クリームのコントラストは絶妙だ。

②母が初めて買ってくれたモンブランの味は忘れられない。

③そんなモンブランにまみれて眠ってみたい。

小論文としては、許容できない部分が数多くあります。

そのポイントを、できる限り指摘してみてください。

小論文としてまずい部分

①X 「 」という表現技法を用いている。

→小論文には使用しない表現技法がある。(もそう)

①Y 「絶妙だ」と断言しているが、()。

② なぜ忘れられないのか、()。

③ () が用いられている。

③ ()。(作文として書いているので当たり前)

小論文では、主張を最初に置くのが基本になります。

この文章を、無理やり小論文風にしたら、こんな感じ。

①X 私の好きな食べ物はモンブランである。

①Y ほのかな栗の甘みと生クリームのコントラストは、
生クリームの味が淡いからこそそれよりもやや濃い栗の甘みを際立たせるという
効果があるため、絶妙の配合といえる。

②母が初めて買ってくれたモンブランの味は、それまで砂糖を振りかけたような
甘さのケーキしか食べたことがなかった私にとって、忘れられないものとなった。

③~~そのようなモンブランにまみれて眠ってみたい。~~

私にとってモンブランはかけがえのない存在なのである。

かなり苦しいですが、何となく理屈っぽくは映りますね。

Ⅲ. 志望理由書は作文？小論文？

結論から先に言うと、「
どちらに近いかと言われれば、「
もう少し正確に言えば、

「
ベースにして「
」という題で「
」につながるように書くこと。

という「
なぜここまでくどくど言うか、それは誤解が多いからなのです。

(参考) 前回のフローチャート

①A 「いまは、……いう (社会) 状況にある」

①B 「(そういう状況で)、私は……したい (なりたい)」



②A 「(それというのもの)、……な出会い (経験) があったからだ」

A´ 「(その経験から)、……に自分は変化した (考え・行動など)」

②B 「(さらに)、社会 (外側) に対して、……な意識が芽生えた」

B´ 「(前をふまえて)、大学で……をやりたい (入学させて!)」



③A 「(大学で学んだ後は) 社会で……をやりたい (キャリアの希望)」

B 「(そのキャリアを通じて) 社会に……な形で貢献したい」

- ①Y ほのかな栗の甘みと生クリームのコントラストは絶妙だ。
- ①X そんなモンブランを作るため、私は有名パティシエであるK氏に弟子入りしたい。
- ②母が初めて買ってくれたモンブランの味は忘れられない。
食べ物で人に感動を与えることはすばらしいと感じた。
- ③将来はモンブラン専門店を経営して、多くの人々を幸せにしたい。

体言止めや倒置法など、小論文では好ましくないとされる表現技法は、志望理由書でも用いない。

作文・小論文・志望理由書の違いが、何となく感じられましたか？

志望理由書フローチャート①A・①Bの作成

ここから①A・②Bを実際に作成していきます。

そのために、まず、以下を確定させましょう。

i) 自分の志望大学（学部・学科まで）

ii) 第5講の学科別キーワードの中で、興味のあるものをひとつ

①A において、は極めて大きな
課題である。この社会を支える一員として、の
責任を果たし、で力を尽くしたい。

①B (そのような観点から)

(私はそのように考え)

(……するために)

大学学部を志望した。特に
を中心に研究し、
も学びたい。

※あくまでひとつの例です、さまざまなフォームを考えていきます。